

平成24年度第2四半期（上半期）報告

メディケア生命（社長 寺崎 啓介）の平成24年度第2四半期（上半期）の業績は添付のとおりです。

※資料中、「第2四半期（上半期）」は「4月1日～9月30日」を表しております。

<目次>

1. 主要業績	……1頁
2. 一般勘定資産の運用状況	……3頁
3. 資産運用の実績（一般勘定）	……4頁
4. 中間貸借対照表	……9頁
5. 中間損益計算書	……10頁
6. 中間株主資本等変動計算書	……11頁
7. 経常利益等の明細（基礎利益）	……14頁
8. 債務者区分による債権の状況	……15頁
9. リスク管理債権の状況	……15頁
10. ソルベンシー・マージン比率	……15頁
11. 特別勘定の状況	……15頁
12. 保険会社及びその子会社等の状況	……15頁
（参考）証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況	……16頁

以上

お問い合わせは、次にお問い合わせいたします。

メディケア生命保険株式会社 経営管理部

Tel : 03-5621-3367

1. 主要業績

(1) 保有契約高及び新契約高

・保有契約高

(単位：件、百万円、%)

区 分	平成23年度末		平成24年度第2四半期（上半期）末			
	件 数	金 額	件 数		金 額	
				前年度 末比		前年度 末比
個 人 保 険	37,439	56,670	82,215	219.6	78,524	138.6
個人年金保険	—	—	—	—	—	—
団 体 保 険	—	—	—	—	—	—
団体年金保険	—	—	—	—	—	—

・新契約高

(単位：件、百万円、%)

区 分	平成23年度第2四半期（上半期）				平成24年度第2四半期（上半期）					
	件 数	金 額			件 数		金 額			
			新契約	転換による 純増加		前年 同期比		前年 同期比	新契約	転換による 純増加
個 人 保 険	12,712	25,640	25,640	—	45,893	361.0	22,062	86.0	22,062	—
個人年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
団 体 保 険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(2) 年換算保険料

・保有契約 (単位：百万円、%)

区 分	平成23年度末	平成24年度 第2四半期 (上半期) 末	
			前年度 末比
個 人 保 険	4,362	7,341	168.3
個 人 年 金 保 険	—	—	—
合 計	4,362	7,341	168.3
うち医療保障・ 生前給付保障等	1,380	3,267	236.6

・新契約 (単位：百万円、%)

区 分	平成23年度 第2四半期 (上半期)	平成24年度 第2四半期 (上半期)	
			前年 同期比
個 人 保 険	1,754	3,041	173.3
個 人 年 金 保 険	—	—	—
合 計	1,754	3,041	173.3
うち医療保障・ 生前給付保障等	429	1,944	452.4

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約は、保険料を保険期間で除した金額)。
2. 医療保障・生前給付保障等については、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付)、保険料払込免除給付(障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患を事由とするものを含む)に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

(3) 主要収支項目 (単位：百万円、%)

区 分	平成23年度 第2四半期 (上半期)	平成24年度 第2四半期 (上半期)	
			前年 同期比
保 険 料 等 収 入	25,918	23,449	90.5
資 産 運 用 収 益	190	514	270.0
保 険 金 等 支 払 金	60	285	469.9
資 産 運 用 費 用	0	0	67,633.3

(4) 総資産 (単位：百万円、%)

区 分	平成23年度末	平成24年度 第2四半期 (上半期) 末	
			前年度 末比
総 資 産	76,439	96,928	126.8

2. 一般勘定資産の運用状況

(1) 運用環境

平成 24 年度上半期の日本経済は、東日本大震災からの復興需要やエコカー補助金などによる個人消費の増加から国内の需要は拡大したものの、世界的な景気の減速懸念や円高の影響により輸出が伸び悩んだことから減速しました。また、与野党の対立による政策決定の遅れへの懸念などを受け、景気の先行きは不透明な状況となりました。

国内金利(新発 10 年国債利回り)は低下しました。期初は、欧州債務問題および米国、中国の景気減速懸念などを受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、低下基調で推移しました。その後、米国の金利上昇や E C B (欧州中央銀行)の欧州債務問題への対応等の発表から上昇する場面もありましたが、景気の先行き不透明感は根強く、また、日銀が追加金融緩和を決定したことなどから低下し、上半期末の利回りは 0.770% となりました。

【新発 10 年国債利回り 平成 24 年 3 月末 0.985% → 平成 24 年 9 月末 0.770%】

国内株式(日経平均株価)は下落しました。期初は、欧州債務問題および米国、中国の景気減速懸念などを受けて下落し、一時 8,300 円を下回りました。その後、日米欧の金融緩和や政策対応を受け、過度の懸念が後退したことから反発し国内株式(日経平均株価)は 8,800 円台後半で上半期末を迎えました。

【日経平均 平成 24 年 3 月末 10,083.56 円 → 平成 24 年 9 月末 8,870.16 円】

為替相場(ドル円)は円高が進行しました。ドル円は、米国景気の減速懸念や日米金利差の縮小などを背景に円が買われ、円高傾向が続きました。8 月には米国経済指標の改善により若干の円安となる局面があったものの、追加量的緩和への期待から米国金利が低下したため再び円高が進み、77 円台後半で上半期末を迎えました。

【ドル/円 平成 24 年 3 月末 82.19 円 → 平成 24 年 9 月末 77.60 円】

(2) 運用方針

当社は、資産負債の総合的管理(A L M)の枠組みのもと、生命保険という長期にわたる負債の特性を踏まえ、超長期国債を中心とした国内債券運用を行うことにより、金利リスクを適切にコントロールしながら安定的な収益を確保する方針としております。

(3) 運用実績の概況

平成 24 年度上半期末の総資産は、969 億円となりました。国債を中心とした運用を行い、資産運用収益は 514 百万円となりました。

3. 資産運用の実績（一般勘定）

（1）資産の構成

（単位：百万円、％）

区 分	平成23年度末		平成24年度 第2四半期（上半期）末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
現 預 金 ・ コ ー ル ロ ー ン	1,372	1.8	1,790	1.8
買 現 先 勘 定	—	—	—	—
債 券 貸 借 取 引 支 払 保 証 金	—	—	—	—
買 入 金 銭 債 権	—	—	—	—
商 品 有 価 証 券	—	—	—	—
金 銭 の 信 託	—	—	—	—
有 価 証 券	73,311	95.9	92,950	95.9
公 社 債	73,311	95.9	92,950	95.9
株 式	—	—	—	—
外 国 証 券	—	—	—	—
公 社 債	—	—	—	—
株 式 等	—	—	—	—
そ の 他 の 証 券	—	—	—	—
貸 付 金	—	—	—	—
不 動 産	31	0.0	57	0.1
繰 延 税 金 資 産	—	—	—	—
そ の 他	1,724	2.3	2,130	2.2
貸 倒 引 当 金	—	—	—	—
合 計	76,439	100.0	96,928	100.0
う ち 外 貨 建 資 産	—	—	—	—

（注）不動産については建物の金額を計上しております。

(2) 資産の増減

(単位：百万円)

区 分	平成23年度 第2四半期（上半期）	平成24年度 第2四半期（上半期）
現 預 金 ・ コ ー ル ロ ー ン	16	418
買 現 先 勘 定	—	—
債券貸借取引支払保証金	—	—
買 入 金 銭 債 権	—	—
商 品 有 価 証 券	—	—
金 銭 の 信 託	—	—
有 価 証 券	24,417	19,638
公 社 債	24,417	19,638
株 式	—	—
外 国 証 券	—	—
公 社 債	—	—
株 式 等	—	—
そ の 他 の 証 券	—	—
貸 付 金	—	—
不 動 産	△ 0	26
繰 延 税 金 資 産	—	—
そ の 他	146	405
貸 倒 引 当 金	—	—
合 計	24,579	20,489
う ち 外 貨 建 資 産	—	—

(注) 不動産については建物の金額を計上しております。

(3) 資産運用収益

(単位：百万円)

区 分	平成23年度 第2四半期（上半期）	平成24年度 第2四半期（上半期）
利息及び配当金等収入	190	514
預貯金利息	0	0
有価証券利息・配当金	190	514
貸付金利息	—	—
不動産賃貸料	—	—
その他利息配当金	—	—
商品有価証券運用益	—	—
金銭の信託運用益	—	—
売買目的有価証券運用益	—	—
有価証券売却益	—	—
国債等債券売却益	—	—
株式等売却益	—	—
外国証券売却益	—	—
その他	—	—
有価証券償還益	—	—
金融派生商品収益	—	—
為替差益	—	—
貸倒引当金戻入額	—	—
その他運用収益	—	—
合 計	190	514

(4) 資産運用費用

(単位：百万円)

区 分	平成23年度 第2四半期（上半期）	平成24年度 第2四半期（上半期）
支 払 利 息	0	0
商 品 有 価 証 券 運 用 損	—	—
金 銭 の 信 託 運 用 損	—	—
売 買 目 的 有 価 証 券 運 用 損	—	—
有 価 証 券 売 却 損	—	—
国 債 等 債 券 売 却 損	—	—
株 式 等 売 却 損	—	—
外 国 証 券 売 却 損	—	—
そ の 他	—	—
有 価 証 券 評 価 損	—	—
国 債 等 債 券 評 価 損	—	—
株 式 等 評 価 損	—	—
外 国 証 券 評 価 損	—	—
そ の 他	—	—
有 価 証 券 償 還 損	—	—
金 融 派 生 商 品 費 用	—	—
為 替 差 損	—	—
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	—	—
貸 付 金 償 却	—	—
貸 貸 用 不 動 産 等 減 価 償 却 費	—	—
そ の 他 運 用 費 用	—	—
合 計	0	0

(5) 売買目的有価証券の評価損益

該当事項はありません。

(6) 有価証券の時価情報（売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの）

（単位：百万円）

区 分	平成23年度末					平成24年度第2四半期（上半期）末				
	帳簿価額	時 価	差損益	差益		帳簿価額	時 価	差損益	差益	
				差益	差損				差益	差損
満期保有目的の債券	25,625	25,870	244	251	△ 6	37,195	37,971	775	785	△ 10
責任準備金対応債券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の有価証券	46,786	47,686	900	900	△ 0	54,204	55,754	1,549	1,551	△ 1
公 社 債	46,786	47,686	900	900	△ 0	54,204	55,754	1,549	1,551	△ 1
株 式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外 国 証 券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
公 社 債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
株 式 等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の証券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	72,411	73,556	1,144	1,151	△ 7	91,400	93,726	2,325	2,336	△ 11
公 社 債	72,411	73,556	1,144	1,151	△ 7	91,400	93,726	2,325	2,336	△ 11
株 式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外 国 証 券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
公 社 債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
株 式 等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の証券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるものを含んでいます。

・時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は保有しておりません。

(7) 金銭の信託の時価情報

該当事項はありません。

4. 中間貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	平成23年度末 要約貸借対照表 (平成24年3月31日現在)	平成24年度 中間会計期間末 (平成24年9月30日現在)
		金 額	金 額
(資 産 の 部)			
現 金 及 び 預 貯 金		1,372	1,790
有 価 証 券		73,311	92,950
(うち 国 債)		(73,311)	(92,950)
有 形 固 定 資 産		78	106
無 形 固 定 資 産		1,184	1,326
そ の 他 資 産		491	754
そ の 他 の 資 産		491	754
資 産 の 部 合 計		76,439	96,928
(負 債 の 部)			
保 険 契 約 準 備 金		55,061	76,877
支 払 備 金		34	74
責 任 準 備 金		55,027	76,803
代 理 店 借 入		367	824
そ の 他 負 債		439	512
未 払 法 人 税 等		3	1
そ の 他 の 負 債		435	510
賞 与 引 当 金		55	64
価 格 変 動 準 備 金		14	25
繰 延 税 金 負 債		277	477
負 債 の 部 合 計		56,215	78,781
(純 資 産 の 部)			
資 本 金		12,500	12,500
資 本 剰 余 金		12,500	12,500
資 本 準 備 金		12,500	12,500
利 益 剰 余 金		△ 5,398	△ 7,925
そ の 他 利 益 剰 余 金		△ 5,398	△ 7,925
繰 越 利 益 剰 余 金		△ 5,398	△ 7,925
株 主 資 本 合 計		19,601	17,074
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金		623	1,072
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		623	1,072
純 資 産 の 部 合 計		20,224	18,147
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計		76,439	96,928

5. 中間損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	平成23年度 中間会計期間 〔平成23年 4月 1日から 平成23年 9月30日まで〕	平成24年度 中間会計期間 〔平成24年 4月 1日から 平成24年 9月30日まで〕
		金 額	金 額
経 常 収 益		26,109	23,963
保 険 料 等 収 入		25,918	23,449
（うち保険料）		(25,918)	(23,449)
資 産 運 用 収 益		190	514
（うち利息及び配当金等収入）		(190)	(514)
経 常 費 用		27,190	26,477
保 険 金 等 支 払 金		60	285
（うち保険金）		(6)	(20)
（うち給付金）		(18)	(91)
（うち解約返戻金）		(21)	(167)
（うちその他返戻金）		(14)	(6)
責 任 準 備 金 等 繰 入 額		24,777	21,816
支 払 備 金 繰 入 額		1	39
責 任 準 備 金 繰 入 額		24,775	21,776
資 産 運 用 費 用		0	0
（うち支払利息）		(0)	(0)
事 業 費		1,994	3,899
そ の 他 経 常 費 用		357	477
経 常 損 失		1,081	2,513
特 別 損 失		7	10
固 定 資 産 等 処 分 損		0	—
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額		7	10
税 引 前 中 間 純 損 失		1,089	2,524
法 人 税 及 び 住 民 税		1	1
法 人 税 等 合 計		1	1
中 間 純 損 失		1,090	2,526

6. 中間株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	平成23年度	平成24年度
		中間会計期間 〔平成23年 4月 1日から 平成23年 9月30日まで〕	中間会計期間 〔平成24年 4月 1日から 平成24年 9月30日まで〕
		金 額	金 額
株主資本			
資本金			
当期首残高		12,500	12,500
当中間期変動額			
当中間期変動額合計		—	—
当中間期末残高		12,500	12,500
資本剰余金			
資本準備金			
当期首残高		12,500	12,500
当中間期変動額			
当中間期変動額合計		—	—
当中間期末残高		12,500	12,500
利益剰余金			
その他利益剰余金			
繰越利益剰余金			
当期首残高		△ 2,524	△ 5,398
当中間期変動額			
中間純損失		1,090	2,526
当中間期変動額合計		△ 1,090	△ 2,526
当中間期末残高		△ 3,615	△ 7,925
株主資本合計			
当期首残高		22,475	19,601
当中間期変動額			
中間純損失		1,090	2,526
当中間期変動額合計		△ 1,090	△ 2,526
当中間期末残高		21,384	17,074
評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金			
当期首残高		98	623
当中間期変動額			
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）		400	449
当中間期変動額合計		400	449
当中間期末残高		498	1,072
評価・換算差額等合計			
当期首残高		98	623
当中間期変動額			
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）		400	449
当中間期変動額合計		400	449
当中間期末残高		498	1,072
純資産合計			
当期首残高		22,573	20,224
当中間期変動額			
中間純損失		1,090	2,526
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）		400	449
当中間期変動額合計		△ 690	△ 2,077
当中間期末残高		21,882	18,147

注記事項

(中間貸借対照表関係)

平成24年度中間会計期間末

1. 会計方針に関する事項

(1) 有価証券(国債)の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券については移動平均法による償却原価法(定額法)、その他有価証券については期末日の市場価格等に基づく時価法(売却原価の算定は移動平均法)によっております。なお、その他有価証券の評価差額については、全部純資産直入法により処理しております。

(2) 有形固定資産の減価償却の方法

建物は定額法、その他は定率法によっております。

定率法を採用している有形固定資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。なお、当中間会計期間より、法人税法の改正(「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年12月2日公布法律第114号)及び「法人税法施行令の一部を改正する政令」(平成23年12月2日公布政令第379号))に伴い、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。この変更による損益への影響は軽微です。

(3) 無形固定資産の減価償却の方法

自社利用のソフトウェアは利用可能期間に基づく定額法によっております。

(4) 賞与引当金の計上方法

従業員の賞与に充てるため、支給見込額のうち当中間会計期間の負担額を計上しております。

(5) 責任準備金の積立方法

責任準備金は保険業法第116条の規定に基づく準備金であり、保険料積立金については保険業法施行規則第69条第4項第4号の規定に基づく5年チルメル式により計算しております。

(6) 価格変動準備金の計上方法

価格変動準備金は保険業法第115条の規定に準じて算出した額を計上しております。

(7) 消費税及び地方消費税の会計処理

税抜方式によっております。ただし、資産に係る控除対象外消費税等のうち、税法に定める繰延消費税等については、その他資産に計上し5年間で均等償却し、繰延消費税等以外のものについては、当中間会計期間に費用処理しております。

2. 主な金融資産及び金融負債にかかる中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	中間貸借対照表計上額	時価	差額
現金及び預貯金	1,790	1,790	-
有価証券	92,950	93,726	775
満期保有目的の債券	37,195	37,971	775
その他有価証券	55,754	55,754	-

(注1) 金融商品の時価の算定方法

(1) 現金及び預貯金

これらはすべて短期であるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(2) 有価証券

9月末日の市場価格によっております。

(注2) 有価証券に関する事項

満期保有目的の債券において、種類ごとの中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	種類	中間貸借対照表計上額	時価	差額
時価が中間貸借対照表計上額を超えるもの	国債	29,601	30,387	785
時価が中間貸借対照表計上額を超えないもの	国債	7,594	7,584	△10
合計		37,195	37,971	775

その他有価証券において、種類ごとの取得原価又は償却原価、中間貸借対照表計上額及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	種類	取得原価又は 償却原価	中間貸借対照表 計上額	差額
中間貸借対照表計上額が取得原価又は 償却原価を超えるもの	国債	49,811	51,362	1,551
中間貸借対照表計上額が取得原価又は 償却原価を超えないもの	国債	4,393	4,391	△1
合計		54,204	55,754	1,549

3. 保険業法第259条の規定に基づく生命保険契約者保護機構に対する当中間会計期間末における当社の今後の負担見積額は、69百万円であります。

なお、当該負担金は拠出した中間会計期間の事業費として処理しております。

4. 有形固定資産の減価償却累計額は、135百万円であります。

5. 1株当たり純資産額は、72,589円35銭であります。

注記事項

(中間損益計算書関係)

平成24年度中間会計期間	
1. 1株当たり中間純損失は、10,106円60銭であります。	
2. 利息及び配当金等収入の内訳は、以下のとおりであります。	
預貯金利息	0百万円
有価証券利息・配当金	514百万円
計	514百万円

注記事項

(中間株主資本等変動計算書関係)

平成24年度中間会計期間					
1. 当中間会計期間末における発行済株式の種類及び総数は以下のとおりであります。					
	株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当中間会計期間末
	普通株式(株)	250,000	—	—	250,000

7. 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

	平成23年度 第2四半期（上半期）	平成24年度 第2四半期（上半期）
基礎利益 A	△ 1,059	△ 2,414
キャピタル収益	—	—
金銭の信託運用益	—	—
売買目的有価証券運用益	—	—
有価証券売却益	—	—
金融派生商品収益	—	—
為替差益	—	—
その他キャピタル収益	—	—
キャピタル費用	—	—
金銭の信託運用損	—	—
売買目的有価証券運用損	—	—
有価証券売却損	—	—
有価証券評価損	—	—
金融派生商品費用	—	—
為替差損	—	—
その他キャピタル費用	—	—
キャピタル損益 B	—	—
キャピタル損益含み基礎利益 A + B	△ 1,059	△ 2,414
臨時収益	—	—
再保険収入	—	—
危険準備金戻入額	—	—
個別貸倒引当金戻入額	—	—
その他臨時収益	—	—
臨時費用	21	99
再保険料	—	—
危険準備金繰入額	21	99
個別貸倒引当金繰入額	—	—
特定海外債権引当勘定繰入額	—	—
貸付金償却	—	—
その他臨時費用	—	—
臨時損益 C	△ 21	△ 99
経常利益 A + B + C	△ 1,081	△ 2,513

8. 債務者区分による債権の状況

該当事項はありません。

9. リスク管理債権の状況

該当事項はありません。

10. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項 目	平成23年度末	平成24年度 第2四半期 (上半期) 末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	20,493	18,661
資本金等	19,601	17,074
価格変動準備金	14	25
危険準備金	67	166
一般貸倒引当金	—	—
その他有価証券の評価差額×90% (マイナスの場合100%)	810	1,394
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本 調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
持込資本金等	—	—
控除項目	—	—
その他	—	—
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	1,005	1,188
保険リスク相当額 R_1	1	1
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	46	137
予定利率リスク相当額 R_2	6	9
最低保証リスク相当額 R_7	—	—
資産運用リスク相当額 R_3	967	1,132
経営管理リスク相当額 R_4	30	38
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	4,074.7%	3,139.1%

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条及び第87条、並びに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

11. 特別勘定の状況

該当事項はありません。

12. 保険会社及びその子会社等の状況

該当事項はありません。

(参考) 証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況

平成24年度第2四半期（上半期）の証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況は以下のとおりです。

1. 投資状況

- (1) 特別目的事業体（SPEs）一般
特別目的事業体（SPEs）への投資はありません。
- (2) 債務担保証券（CDO）
債務担保証券（CDO）の取引・残高はありません。
- (3) その他のサブプライム・Alt-A エクスポージャー
サブプライム・Alt-A エクスポージャーを裏付資産とした証券化商品等の取引・残高はありません。
- (4) 商業用不動産担保証券（CMBS）
商業用不動産担保証券（CMBS）の取引・残高はありません。
- (5) レバレッジド・ファイナンス
レバレッジド・ファイナンスの取引・残高はありません。
- (6) その他の証券化商品等
取引・残高はありません。

2. その他関連情報

子会社等におけるサブプライム・ローン関連商品への投資はありません。

<各種証券化商品の用語について>

CDO：Collateralized Debt Obligation（債務担保証券）

CMBS：Commercial Mortgage-Backed Securities（商業用不動産担保証券）

SPE：Special Purpose Entity（特別目的事業体）